

平成30年度の外部評価について

1 外部評価の考え方

外部評価には、①分析強化型と②市民協働型（提案）の2種類がある。

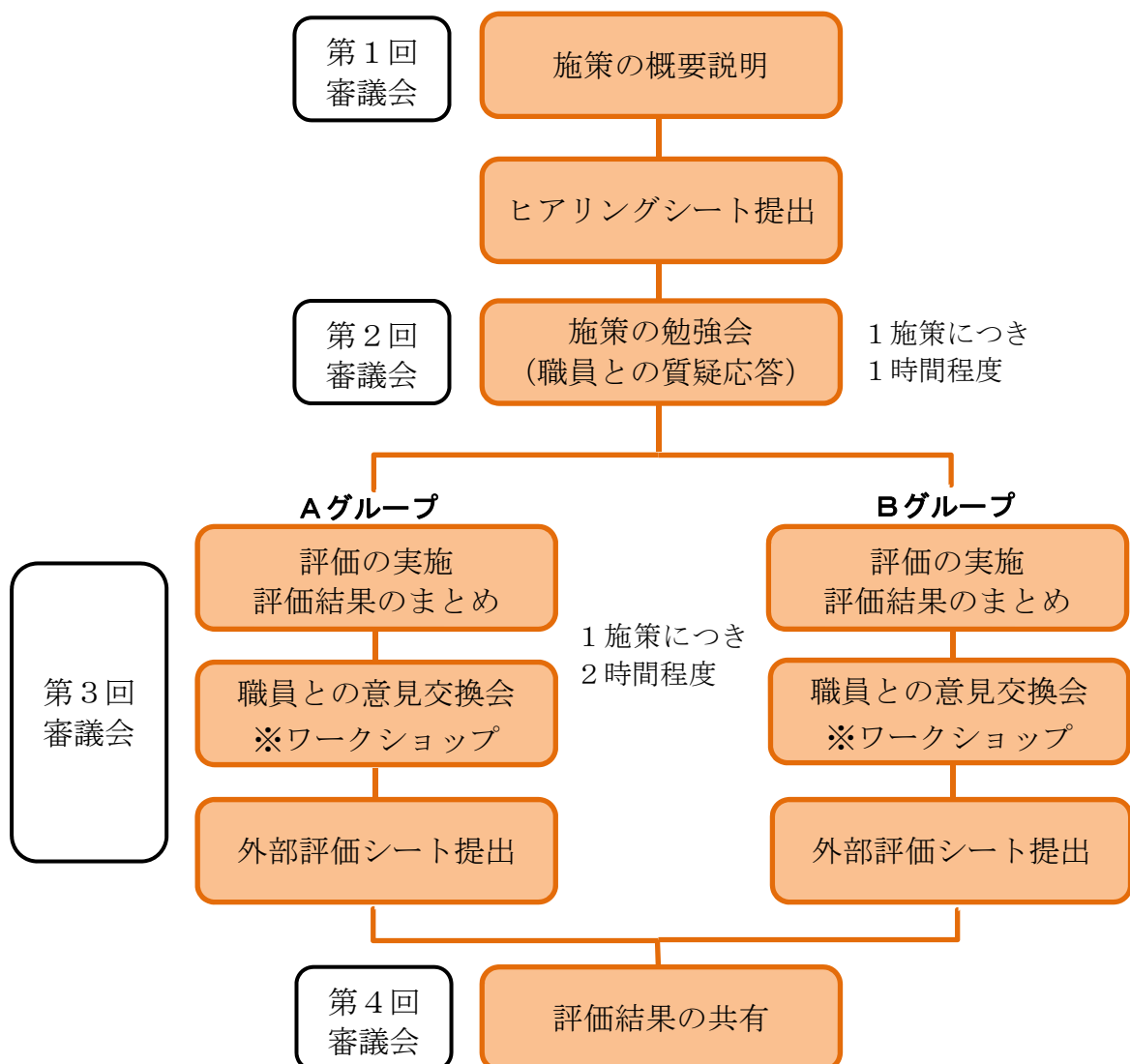
分析強化型は、内部評価結果を検証し、評価の質を向上させること、市民協働型は、取組結果を検証し、取組効果を高める改善を提案することという役割がある。

市では、②市民協働型（提案）を基本としながら、①分析強化型の要素も取り入れることとする。

《参考》市の外部評価の目的

- ・ 評価の透明性・客観性の確保
- ・ 市民目線による施策等の見直し
- ・ 評価結果の分かりやすさの確保

2 評価の流れ



3 グループ分けについて

各委員を、AグループとBグループに分け、各グループに評価対象施策を振り分けて評価を実施する。

委員は、第2回審議会の勉強会終了後に、評価したい施策に応じてグループを選択する。

各グループの評価終了後は、各グループでの審議内容、評価内容を全体で共有する。

※平成30年度評価対象施策

平成30年度は、平成29年度に評価していない次の施策が評価対象となる。

- ・働く場を生み出すまちづくり（商工振興課・企画政策課）
- ・みどりが価値を生み出すまちづくり（環境課・学校教育課）
- ・みどりがつながるまちづくり（環境課・道路課）
- ・都市拠点がにぎわうまちづくり
（都市計画課・市民活動支援課・商工振興課・道路課）
- ・拠点がつながるまちづくり
（都市計画課・市民活動支援課・企画政策課・道路課）

4 職員体制

勉強会や意見交換会、評価の際に出席する職員は、各施策を担当する課長及び担当職員とする。

外部評価シート

委員名 _____

施策 ○○○

項目	内容	評価	コメント（自由記入）
取組 状況	目標実現に資する取組となっているか。	A・B・C	
	市民ニーズに即した取組となっているか。	A・B・C	
	他分野や市民等と必要な連携が図られているか。	A・B・C	
成果	目標実現に向けて成果は上がっているか。	A・B・C	
	1次評価の進捗状況の評価は妥当か。	A・B・C	
課題・ 方向性	今後の課題・問題点が的確に捉えられているか。	A・B・C	
	今後の方向性は妥当か。	A・B・C	
分かり やすさ	市民に分かりやすい記載となっているか。	A・B・C	
総合 評価	施策の総合評価	A・B・C	

A	優れている（期待を上回る）
B	ふつう（期待どおり）
C	不十分（期待を下回る）

《 今後に向けた改善提案等 》